



第291号

2013年(平成25年)4月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/

情報組織部 チーム医療部門 糖尿病療養指導部会からのお知らせ

多職種
公開講座

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
◀評価点▶
日臨技生涯教育点数



「糖尿病療養指導士受験対策－自験例の書き方を学ぼう」

日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) の受験および5年ごとの資格更新の際には、糖尿病療養指導自験例 (症例) の提出が必須です。患者さんの身体所見や合併症、薬物療法の外に①症例の療養指導上の問題点 ②問題点に対する対応 ③主治医やチームの他職種との連携 ④患者さんの変化についてまとめます。

どのような症例を選ぶか、どんな表現方法を用いるかノウハウを2名のCDEJの方にお話していただきます。受験資格や更新の流れについてもレクチャーしていただく予定ですので、これから受験を考えている方、更新を予定されている方には必見です。

臨床検査技師以外の職種の方でもCDEJ受験に興味を持たれている方がおられたらぜひお誘いください。多くの方の参加をお待ちしております。

- 講師 1. 住友病院 臨床検査部 佐藤 直美
2. 大阪市立総合医療センター 病理部 横田 裕香

日時 平成25年4月10日(水) 18:30~20:00

会場 住友病院 14階講堂
【※注意!!今回より会場が変わります】

参加費 500円(一律)

連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
E-mail ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp



ACCESS

- 京阪電車中之島線 中之島駅下車(2番出口) 南へ徒歩約3分
 阪神電車阪神本線 福島駅下車(西改札口) 南へ徒歩約13分
 JR環状線 福島駅下車 南へ徒歩約15分
 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅下車(3番出口) 西へ徒歩約13分
 地下鉄中央線 阿波座駅下車(1番出口) 北へ徒歩約12分

糖尿病療養指導士認定のための更新単位
(臨床検査技師のみ第1群):0.5単位
(CDEJの方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」の
必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。
2群の単位は取得できません。)

詳細は次号に掲載いたします。

予告

第33回 北支部自由集会



「POCTの現状と将来展望」

日時 平成25年5月25日(土) 15:00~18:00
会場 大阪医科大学 PA会館(新講義実習棟) 1階 P-101 講堂
参加費 会員500円、非会員3,000円
連絡先 北支部長 竹下 仁(大阪府三島救命救急センター)
E-mail takesita302@osaka-mishima.jp

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
◀評価点▶
日臨技生涯教育点数



生理検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

Theme 「これだけは見逃すな！緊急を要する心電図」

講師：大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 安保 浩二

安静時心電図は循環器診療においてファーストチョイスの検査です。正しい位置に装着さえできれば簡単に検査することができますが、波形の判読にはある程度の経験を要します。しかし、患者さんは技師を選ぶことができません。経験者であれ、新人であれ、重篤例や急変する可能性のある例が来られた場合、我々技師は、正確な判読力と迅速な対応が要求されます。

そこで今回は、「これだけは見逃すな！緊急を要する心電図」と題して、心電図の基本的なことから判読のコツやピットフォール、失敗談なども含めてお話ししたいと思います。普段、心電図検査に携わっている方はもちろんこと、新人の方、当直などでしか心電図検査に携わっていない方などもぜひご参加ください。

日時

平成25年4月18日(木) 18:30~20:00

会場

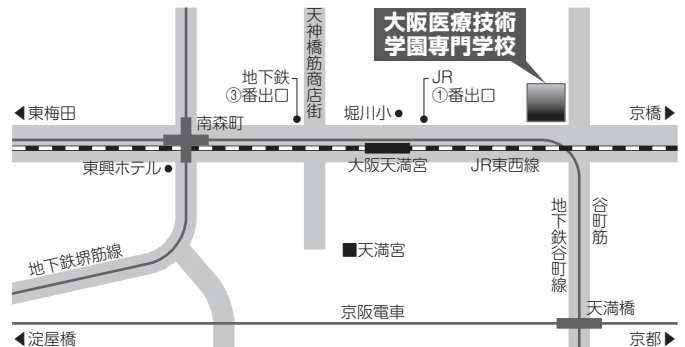
大阪医療技術学園専門学校
〒530-0044 大阪市北区東天満2-1-30
地下鉄谷町線・堺筋線「南森町駅」、JR 東西線「大阪天満宮駅」下車

参加費

500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です)

連絡先

大阪市立大学医学部附属病院 安保 浩二
E-mail kaboreinaren@gmail.com



血液検査部門『血液形態セミナー・シニアコース』

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

今年度も例年通り、血液形態セミナー・シニアコースを開催いたします。本セミナーは末梢血液標本・骨髓標本を用いた症例検討会です。郵送で標本を回覧し、分類結果を期日までにメールで送信していただき、セミナー当日に分類結果の報告と標本提出施設が症例解説を行う勉強会となっております。

それに先がけ、ガイダンスを行います。ガイダンスでは正会員の登録、斑分け、標本提出施設の決定などを行います。正会員希望の方は、必ずガイダンスに出席してください。(技師会会員証を必ず持参してください。)

ガイダンスについて

■日時 平成25年4月4日(木) 18:30~20:00

■会場 大阪府済生会中津病院
南棟2階講堂(会場変更の場合あり)

18:45までは南棟入口から入館可能ですが、それ以降にお越しの際は中棟夜間入口を利用し2階の渡り廊下から南棟に移動してください。会場案内の掲示は行いませんのでご了承ください。

■参加資格 1. 技師会会員であること。
2. 血液形態検査に3年以上の経験を有し末梢血液像、骨髓像が分類できること。
3. 原則として症例発表が出来る施設であること
4. エクセルファイルを添付してメールで送受信出来る環境があること(分類結果報告用)

■募集人数 ▶正会員
25~30施設の代表者で、各施設1名(標本を各施設に回します)
▶年間オブザーバー
数施設(標本に余裕がある場合のみ回します)
▶オブザーバー
約30名(聴講のみ)

■会費 ▶正会員
4,500円(9回) 郵送費込み(切手を配布)
▶年間オブザーバー
4,000円(標本がある場合の郵送費は別途必要)
▶オブザーバー
500円(1回につき)
(ガイダンス不参加で年間オブザーバー希望の方は4,000円。ただし、聴講のみ)
▶非会員
3,000円(1回につき)

■連絡先 星ヶ丘厚生年金病院 検査部 稲田 孝
TEL: 072-840-2641

年間開催日(症例検討)

■時間 18:30~20:00

■開催日 2013年

6月 6日(木) 7月 4日(木) 8月 8日(木)

9月 5日(木) 10月 3日(木) 11月 7日(木)

12月 5日(木)

2014年

1月 9日(木) 2月 6日(木)

注) 新規で正会員登録の施設は今年度本セミナーに慣れていただき、次年度必ず症例報告をしていただきます(自施設で症例が準備できない場合は、関連病院や友人との共同発表でも結構です)。

- 血液認定技師試験を意識した動画の模擬試験はガイダンス時に要望があれば検討いたします。
- 分類結果の集計はメールで行います。ガイダンス時までに「集計で使用できるメールアドレス」をご準備ください。
- 事情により会場、日程を変更する場合があります。変更する場合のみ大阪府技師会のHPに掲示しますので、開催日前日には確認をお願いします。(正会員の方にはメールでも案内させていただきます)
- 正会員、ガイダンス参加で年間オブザーバーの方の会費はガイダンス時に現金でお支払いいただきますのでお釣りのないようご注意ください。
- ご不明な点は、左記連絡先までお問い合わせください。

血液検査部門『血液形態セミナー・ジュニアコース』

血液形態初心者を対象とした「血液形態セミナー・ジュニアコース」を開催いたしますのでご案内申し上げます。

本年度は通常の講義と鏡検実習のコースと若干名ですが聴講のみのコースも設けさせていただきました。また、実習ではテーブルディスカッションも予定しております。受講希望の方は全文をよく読みお申込みください。

講師: 大阪府臨床検査技師会
血液検査部門世話人 ほか

- **会場** 大阪医療技術専門学校
〒530-0044 大阪市北区東天満2-1-30
- **受講費** **Aコース(講義と鏡検実習): 13,000円**
(銀行振込みによる前納、振込み手数料は受講者負担。講義資料C D代、障害保険料含む。)
Bコース(講義の聴講のみ): 6,000円
(銀行振込みによる前納、振込み手数料は受講者負担。講義資料C D代含む。)
- **定員** Aコース: 48名
Bコース: 10名
- **連絡先** 星ヶ丘厚生年金病院 検査部 稲田 孝
〒573-8511 大阪府枚方市星丘4-8-1
TEL: 072-840-2641

日程

- (1) **5月11日(土) 14:30~17:00(13:30~受付開始)**
「血液検査(概論)」、「血液検査担当技師として」の講義と血液像のテスト
- (2) **5月24日(金) 18:00~20:30**
「血液形態標準化」の講義と鏡検実習
- (3) **5月26日(日) 9:30~15:30 (12:00~13:00昼休憩)**
午前:「顆粒球・リンパ球・単球」の講義と鏡検実習
午後:「赤血球・赤芽球分類基準」の講義と鏡検実習
- (4) **6月7日(金) 18:00~20:30**
「血液疾患と生化学検査」の講義鏡検実習
- (5) **6月9日(日) 9:30~15:30 (12:00~13:00昼休憩)**
午前:「凝固系検査」の講義と鏡検実習
午後:「遺伝子・染色体検査」、「細胞性免疫検査」の講義と鏡検実習
- (6) **6月14日(金) 18:00~20:30**
「骨髓像の見方」の講義と鏡検実習
- (7) **6月23日(日) 9:30~15:30 (12:00~13:00昼休憩)**
午前:「F A B分類」の講義と鏡検実習
午後:鏡検実習

申込要領

申し込みはメールで行います(携帯メール不可)。件名はAコース希望の方は「ジュニアA」、Bコース希望の方は「ジュニアB」とし、本文に右記の内容をすべて記入し送信してください。空欄がある場合は無効とします。入力の際、英数字は半角を使用してください。

申込先

血液形態セミナージュニアコース事務局
大阪府済生会中津病院 検査技術科 中村 恒仁
E-mail: osaka.ketsueki@gmail.com

受付期間

4月5日(金) 18時~4月10日(水) 18時
受付期間外に到着したメールは無効とします。

注意事項1(申し込みに関して)

- 1) 申込者は技師会会員(関西支部の地臨技)であること。会員でない方は必ず技師会入会手続きをしてください。
- 2) 先着順で受付を行います。他府県会員は最大6名までとします。
(ただし、大阪府技師会会員の申し込みが42名未満の場合はこの限りではありません。)
- 3) 同一コースを施設内で複数の方(施設内の自宅会員の方も含めて)が申込みされる場合は、施設内で優先順位を決めて、一人1通のメールを送信してください(施設内で参加希望の方が1名の場合は「1」と記入)。優先順位が重複していたり、未記入の場合は無効とします。設備に制約がありますので、申込多数の場合は各施設1名とします。
- 4) 各施設1名としても定員を超えている場合は、先着順で初回受講、初心者の方を優先して受講者を決定とします。
- 5) 同一人物がA、B両コースを申し込まれた場合、メールはどちらも無効とします。
- 6) 両コースとも同等扱いでどちらを受講されても次年度からは受講歴ありとします。
- 7) 受講者決定後、メールで返信しますので受講者は期日までに指定口座に受講費をお振込みください。指定口座、振込み期限は返信メールに記載します(振込み期限は4月23項を予定)。受講費振り込み後のキャンセルは返金いたしません。
- 8) 期日までに振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとし、次の申込者を繰り上げます。この場合、次の方には電話で連絡します。
期限後に振り込まれた場合は、振り込み手数料を差し引いた金額を指定口座に振り込み、返金させていただきます。
- 9) フリーメールの受信拒否設定をされている方は必ず解除しておいてください。
- 10) 4月16日までに返信メールが届かない場合は連絡先に電話にてご連絡ください。

注意事項2(受講に関して)

- 1) 都合により、日程の変更や講義内容が前後する場合があります。ご容赦ください。
- 2) 使用した標本は一部を除き回収します(貸し出しは可)。
- 3) 各日とも講義→鏡検実習の順で行いますので、Bコースの方は日曜日に長い空き時間ができますがご了承ください。
実習中は講義教室で待機もしくは外出も可。
- 4) 日曜日はお弁当等をご持参いただくか、外食も可。

※ご不明な点は、受付期間前に申込み先までメールでお問い合わせください。

学術部 臨床化学検査部門からのお知らせ

他職種
公開講座

臨床化学検査部門 講演会

Theme 「脂質の基礎と最近の話題」

講師:協和メデックス株式会社営業支援部 西岡 達央

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

今年度初めの講演会は、脂質の基礎についてです。新人の方も異動された方も、もちろんベテランの方もこの機会に脂質検査を基礎から学びましょう。

ぜひとも皆様お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

日時 平成25年4月11日(木) 18:30~20:00

会場 大阪市立大学医学部 4階小講義室2

※いつもと会場が違いますのでご注意ください

参加費 500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です)

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 石田 繁則

E-mail shigei@med.osaka-cu.ac.jp

学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

他職種
公開講座

細胞診定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

今年も例年と同様に細胞診定期講習会を開催いたします。細胞診に興味のある方や細胞検査士を目指される方、資格を取得されて間もない方、経験者の方でも知識の整理や再確認をしたい方などを対象に行います。講師には現役の細胞検査士をお迎えし、細胞診を理解するために基礎的な内容からわかりやすく解説していただく予定です。

4月のテーマは細胞診総論と婦人科細胞診です。総論では細胞診の基本的な考え方や細胞の見方を、婦人科では婦人科細胞診の基礎知識、良性病変・子宮癌・卵巣癌・絨毛疾患などの細胞所見についてお話していただきます。

なお4月は総論・子宮頸部と子宮体部・卵巣・絨毛疾患の2回に分けて講習会を行います。お間違いのないように日程および内容を確認のうえ、みなさまぜひご参加ください。

【第1回目】

日時

平成25年4月12日(金) 18:45~20:15

内容

細胞診総論・婦人科子宮頸部

講師

大阪がん循環器病予防センター 田路 英作

会場

北野病院 5階きたのホール

参加費

500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です)

※関西支部の地臨技会員証を必ず提示をしてください。

日臨技の会員証のみでは非会員扱いとなります。

連絡先

星ヶ丘厚生年金病院 検査部病理 三原 勝利

E-mail kattu310a@gaia.eonet.ne.jp

【第2回目】

日時

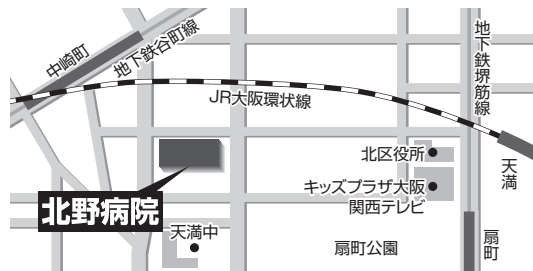
平成25年4月26日(金) 18:45~20:15

内容

子宮体部・卵巣・絨毛疾患

講師

大阪警察病院 浦岡 孝子



他職種
公開講座

微生物検査部門 定期講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 「意外に知らない? 基本的な感染症の診断と治療を学びなおす」

講師:奈良県立医科大学感染症センター 講師・感染対策室長 笠原 敬

近年の感染症診療は、医師だけでなく薬剤師、看護師、臨床検査技師が専門的な知識を活かした情報を提供し、より適切な診断・治療が実践されています。微生物検査室では、単に培養検査をするだけでなく、臨床背景や感染部位から病原菌を予測し、適切な検査を実施し、臨床治療に貢献できる検査結果を返却する必要があります。そのためにも、感染症診療の実際を知り、それを検査に活かすことが必要不可欠です。そこで今回の定期講習会では、奈良県立医科大学感染症センターの笠原 敬先生をお招きし、「意外に知らない? 基本的な感染症の診断と治療を学びなおす」と題して講演していただきます。感染症診療について皆さんと一緒にいちから学びなおしましょう。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時 平成25年4月23日(火) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階

(〒530-0044 大阪市北区東天満2-1-30)

参加費 500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です)

共催 大日本住友製薬株式会社

連絡先 大阪赤十字病院 検査部 市村 佳彦

E-mail triplets-kazu-nao-aki@nifty.com

学術部 生理検査部門 超音波技術研究会からのお知らせ

大阪超音波技術研究会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

腹部・体表の超音波について一緒に勉強する会です。平成25年度は4回の定例研究会を予定しています。

開催日は第2金曜と第3金曜が混在していますのでご注意ください。

講演だけでなく、小グループに分かれての検討や、発表を受け持つことが当会の特色であり、他の参加者と共感できたりして、たいへん勉強になります。

初心者グループには実際の装置を用いての説明も考えています。ぜひご参加ください。

- 4月12日 オリエンテーション、講演、グループ別検討
講演「腹部超音波がん検診基準 (カテゴリー分類)の有用性の検討」
講師 住友病院 外科 西村 重彦
- 7月19日 グループ発表
- 10月18日 講演、グループ別検討
- 1月10日 グループ発表

※現時点での予定ですので必ず最新の行事予定表でご確認ください。

いずれも…

会場	住友病院14階講堂
時間	18:30~20:15
参加費	(1回ごと):会員:500円(非会員:1,000円) ※従来の年間一括参加費は廃止となりました。
連絡先	住友病院 尾羽根 範員 E-mail obane-norikazu@sumitomo-hp.or.jp



学術部 輸血検査部門からのお知らせ

輸血基礎講座

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

本年度の輸血基礎講座は輸血検査に必要な基礎的な内容についての講義を2回にわたって行います。

ローテーションや当直で輸血検査に携わることになった方、新入職員の方等多数の会員の皆様の参加をお待ちしています。参加申込は不要です。

会場	大阪医科大学北キャンパス 看護学部看護学科 講堂
時間	14:30~17:30 (受付14:00~)
参加費	1000円(各回。非会員はテキスト別売り1000円)

輸血基礎講座 1	平成25年4月27日(土)
内容	輸血療法について 血液製剤について ABO式血液型・Rh式血液型

輸血基礎講座 2	平成25年5月11日(土)
内容	輸血検査法の原理・基本手技 不規則抗体 交差適合試験



会場が変更になりましたので
ご注意ください

大阪医科大学
案内マップ

問い合わせ
「件名」を「輸血基礎講座問い合わせ」とし、
右記のアドレスにメールを送信する、
もしくは電話をお願いします。

問い合わせ先
yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp
電話の場合: 06-6372-0675
大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈

予告

輸血基礎実技講習会

【内容】ABO式血液型、Rh式血液型、不規則抗体、交差適合試験

基本的な輸血検査の実技講習です。カラム凝集法も体験できます。
参加申込等詳細は来月の大臨技ニュースに掲載します。

日時	平成25年6月9日(日) 9:00~17:00	参加費	会員6,000円
会場	大阪市立大学 医学部生化学実習室		

例年ご好評いただいております心電図判読講座【初心者・初級・中級】を下記要項にて開催いたします。
受講希望の方は注意事項をよく読みお申込みください。
例年書類不備の方が多数おられますのでご注意ください。

開催日時

- 第1回 平成25年 5月 10日 (金) 18:30~20:00
- 第2回 平成25年 5月 31日 (金) 18:30~20:00
- 第3回 平成25年 6月 7日 (金) 18:30~20:00
- 第4回 平成25年 6月 21日 (金) 18:30~20:00
- 第5回 平成25年 7月 5日 (金) 18:30~20:00

募集期間

4月15日(月)0時~4月26日(金)24時まで

※4月15日(月)0時以前に到着したメールは無効とします。

参加コース

- 初心者** これから心電図を始める方(募集人員 30名)
ベーシック! 電極装着時の注意点や心電図の成り立ち、さらには緊急を要する心電図を含めた基礎的な判読法を学習する。
- 初級** 心電図を初めて約1年未満の方(募集人員 70名)
100本ノック! 多くの症例を判読し、心電図判読能力を養う。
- 中級** 初級講座終了もしくは同等以上の経験の方(募集人員 50名)
マニアック! 心電図一枚から様々な疾患や病態を推測したり、他の検査との比較や最新の知見などを知る。

会場

大阪医療技術学園専門学校

〒530-0044 大阪市北区東天満2-1-30
地下鉄谷町線・堺筋線「南森町駅」、
JR 東西線「大阪天満宮駅」下車

同校へのアクセスは下記URL を参照ください

<http://www.ocmt.ac.jp/access/index.html>

参加費

5,000円

(非会員は別途、資料代として
1,000円が必要です)

問い合わせ先

大阪市立大学医学附属病院 安保 浩二
Email: kaboreinaren@gmail.com

申し込み要領

お申し込みは、メールでのみ受付します。
必要事項を記載のうえ、件名は「心判申し込み」とし、
本文に下記内容を記入し送信してください。

申し込みアドレス

seiribukai@hotmail.co.jp

記載事項

希望コース・職種・氏名・氏名フリガナ・年齢・心電図経験年数・過去に受講した心判のコース&回数・所属施設名・部署名・施設住所・施設電話番号／内線・施設内優先順位・連絡先 E-mail アドレス・所属技師会名(都道府県名、非会員の場合は非会員としてください)・会員番号(申請中の方は「申請中」と記入)。

注意1

同一施設から複数参加希望される場合は施設内での優先順位をあらかじめ相談しておいてください。
(希望者多数の場合調整します。)
初心者コースは受け入れが少ないため、申込者多数の場合は初級コースへ振り替えますのでご了承ください。

注意2

必ずメールは1通1名でお願いします。(同じメールアドレスを使うのは可です)。
携帯メールは返信ができない場合が多いためできるだけ遠慮ください。
電話、郵便等での受付は行いません。

4月30日(火)午後5時時点で返信が無い場合は、上記問い合わせ先までE-mailにてお問い合わせください。

一般検査部門 基礎の基礎講習会

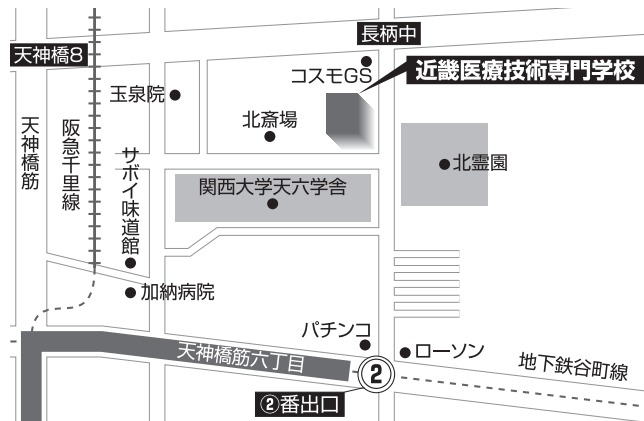
一般検査部門では「一般検査の基礎の基礎」をテーマに講習会を開催いたします。

新人技師や一般検査を始められたばかりのかた、一般検査に興味のあるかたなら誰でもご参加いただけます。

また国家試験合格を目指して勉強中の学生や技師会への入会を考えておられるかたも歓迎いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

内容 一般検査の基礎知識

1. 「尿検査における検体の取り扱い」
講師: 国立循環器病研究センター 臨床検査部 豊政 圭未
2. 「腎臓を考える」～最低限知っておきたい腎臓の知識～
講師: 住友病院 診療技術部 病理検査技術科 寺西 広樹



日時

平成25年4月26日(金) 18:30~20:30

会場

近畿医療技術専門学校 2階会議室
地下鉄 天神橋筋6丁目駅下車 2番出口より北へ徒歩5分

参加費

無料

連絡先

大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 堀田 真希
E-mail masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp

予定

「一般検査基礎講習会」のお知らせ

一般検査部門では今年度も「一般検査基礎講座」を6回にわたり開催いたします。各回の詳細は大臨技ニュースにてご連絡しますのでご覧ください。基礎講座はその名の如く基礎から学ぶことを目的としています。一般検査を始められたばかりの方やもう一度初めから勉強したい方など、多くの方のご参加をお待ちしております。

第1回 平成24年 5月 15日(水) 「尿試験紙法」, 「腎機能検査」

第2回 平成24年 5月 22日(水) 「血球類・塩類」

第3回 平成24年 6月 5日(水) 「上皮細胞」

第4回 平成24年 6月 19日(水) 「円柱類」

第5回 平成24年 7月 3日(水) (予定) 「異型細胞」

第6回 平成24年 7月 17日(水) (予定) 「髄液検査法」



- ※ 各回とも18:30開始予定です。
- ※ 研修会会場は「クレオ大阪中央」(地下鉄谷町線 四天王寺前夕陽丘駅)です。
- ※ 詳細については、開催月の大臨技ニュースをご覧ください。
- ※ 諸事情(天候や感染症の流行、会場の都合など)により、日程や会場などを変更する場合があります。その場合は大臨技ホームページにてご連絡いたします。

Theme なるほど！救急初期診療における臨床検査技師のかかわり

平成25年度、最初の緊急検査部門勉強会は、救急初期診療における臨床検査技師の役割について考えてみたいと思います。実際に救急患者の搬入から初期診療に関わっておられる施設の取り組みを説明していただき、かかわり方のノウハウについて一緒に考えましょう。

日時 平成25年5月7日(火) 18:30~20:00
会場 住友病院14階講堂 ※前年度と会場が変わっています。
参加費 500円(非会員は別途、資料代として500円が必要です)
連絡先 大阪府立中河内救命救急センター 津田 喜裕
E-mail nmcam-lb2@nmcam.jp

Award

平成24年度 会長賞

臨床検査教育機関である専門学校3校に対して、
学業と技師会活動に功績のあった学生に卒業式にて
「大臨技会長賞」(表彰盾)が贈られました。

(カッコ内は授与日 敬称略)

- ✦ 日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
瓜原 浩代 (平成25年3月5日)
- ✦ 近畿医療技術専門学校 臨床検査科
小嶋 泰史 (平成25年3月9日)
- ✦ 大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
中田 有香 (平成25年3月13日)
- ✦ 大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
川北 彩夏 (平成25年3月13日)



~おめでとうございます!これからの活躍を期待しております~

(於:平成25年1月26日(土) 近畿医療技術専門学校)

Report

平成24年度 HIV予防啓発講演会

HIVの青少年に向けての予防啓発運動として、大阪府健康医療部 保健医療室地域保健感染症課 感染症グループ 山中 麻紀 様(保健師)、大阪府立公衆衛生研究所 ウィルス課 森 治代 様(主任研究員)をお招きし、臨床検査技師や他の医療職種をめざす学生を対象に、HIV感染症の現状について、さらに最新の治療や検査についてご講演いただきました。

今日、HIVの講演会を聞いて、初めて知ったことがいろいろとありました。まず、針刺し事故のリスクがC型、B型肝炎より低いことでした。血液でも感染してしまうウイルスなので針刺し事故でも感染してしまうのだと思っていたけれど、実際はそのようなことでは感染しないと知って少し驚きました。この事から、日常生活で普通にHIV感染者と接しても感染することはないのに、HIV感染者だからということ差別をうけるというのはまだまだHIVについての世間の認識は薄いのかと思いました。また、近年感染してから発症までの間隔が狭くなってきているということも初めて知りました。

HIVウイルスも変化していき、免疫担当細胞にやられないウイルスへと変貌していっていると知り、HIV感染者の増加している日本では特に脅威だなと感じました。最後にあったHIVが完治した人が移植した、HIVのコレセプターであるCCR5が不完全な遺伝子を持つドナー由来の白血球のCCR5について少し興味が沸きました。このCCR5についての研究が進んだら完治することも夢ではないのかなと思えました。

臨床検査科 1年生 藤森 玲

僕は今回初めて技師会のセミナーを受講しました。友達に誘ってもらったことがきっかけだったのですが、題目の「HIV」について、自分の知識が乏しかったこと、又みんなが知っていそうで、知らない重要な内容だと思ったので参加しました。

実際に受講してみると、内容的には教科書に記載してある HIV についての基本的な事から、最新のデータ、検査法までの幅広いお話を頂き HIV の重要性を感じることができて、とても有意義な時間になりました。これを機会に、積極的に技師会のセミナーへ参加しようと思いました。

臨床検査科 2年生 柳田 将太郎

HIV の感染経路から AIDS の危険性については、今まで何度も学んで来ましたが、このセミナーでは、やはり詳しい所まで学ぶことができてとても有意義な時間でした。

世界では、HIV 感染者が減っているのに日本では逆に増えているというのは、恐ろしいことだと思います。自分達は、これから採血検査などを行うので、針刺し事故には、十分気をつけなくてはいけないということがよくわかりました。HIV 検査もだんだんと精度が上がってきているとのことで、あとは検査受験者が増えれば予防になるのかなと思います。

CD4 に HIV が感染し、破壊を時間をかけて行っていくのに対し、CD4 を増やす治療を行うことで、発症を食い止めるとのことでしたが、CD4 を持つヘルパー T 細胞を増やすという考え方で合っているのでしょうか。ならば、他の免疫細胞がどうなっているのか。など帰ってから気になってしまったので今後の授業等で学んで行きたいと思います。

HIV 感染から、AIDS 発症までの期間が短くなっているかもしれないという報告はとてもこわいと思いました。

レベルの高いセミナーを受けられてとても良かったです。

臨床検査科 1年生 石井 文菜

(於:平成25年2月10日(日) 大阪大学中之島センター)

Report

第22回 糖尿病療養指導士講演会に参加して

Theme

これからの糖尿病療養指導に望むこと、望まれること

講演会は大変実のある講演でした。厚生年金病院 宮田先生の「空腹時血糖 200mg/dL・HbA1c6.5%は大丈夫と言っている？」掴みは OK でした。どんどん引き込まれていきました。終わった後は「今日の講演、役立てないかな。」と自分に発破をかけました。

長い間糖尿病指導に関わって患者の心理など勉強してきましたが、臨床検査技師として、例えば「慢性鉄血性貧血はヘモグロビンの寿命が軽度延長するから軽度の偽高値になる」などちゃんと説明できていたかな。夜中の血糖測定を嫌がっていた患者に理由をきちんと説明できていたか不安になりました。やはり知っているつもりでも改めて聞くと違います。自分の未熟さを真摯に受け止めて明日からの指導に役立てたいと思いました。

市立枚方市民病院 中央検査科 山本 広世

まだまだ肌寒い2月10日、第22回糖尿病療養指導士講演会に参加しました。

先生方のご講演の中で、糖尿病教室・イベントの工夫やスタッフ確保への動きは、大変参考になりました。また院内だけでなく地域の医療スタッフも参加可能な研修会を開催するなど、地域の連携の強さに感動しました。さらに、「ベストでなくベターな人生を考える」は、私にとって重い言葉となり、今後の指導に役立てていきたいと思います。

宮田哲先生のご講演では、「検査技師はチーム医療の管制塔であってほしい」とのお話しに、やはり検査するだけでなく、いろいろな方面にアンテナを張っていかね

ばならないということを再認識させられ、メインテーマにもある「望まれること」に対応できる力を身につけたいと感じました。

この講演会には岡山から、もう何度も参加させていただいております。岡山でも大阪の糖尿病療養部会の方々のご指導のもと、活動を開始して4年になります。部会のスタッフの皆様の病院の枠を超えた「チーム力」、岡山も追いつきたいと改めて思う講演会でした。

倉敷リバーサイド病院 臨床検査室 中川 裕美



講演会は座れる席が無いほどの盛況でした。

糖尿病は、患者の自己管理が合併症の進展予防につながります。そして健康な人と変わらない QOL の維持と寿命の確保を目標とします。

チームで取り組む糖尿病療養指導は、患者の自己効力感を引き出すために、まずは患者の判断で治療方針を決

める能力を開発することが重要となります。

今回の大阪厚生年金病院 宮田 哲先生のお話の中で、糖尿病患者に目標 HbA1c と現在の腎症の病期について説明する際、HbA1c や尿中アルブミン、eGFR は必須ですが、短い診察時間の中では外来診察が滞ってしまうとのこと。そこで、それらの説明を臨床検査技師にお願いしたいとご講演されました。さらに、GA (グリコアルブミン) 検査適応患者の場合は、その意味を知ることが糖尿病患者の療養支援のひとつになります。

現在、透析予防管理料算定には、所定の条件を満たす医師・看護師・管理栄養士の指導で算定することが必須条件になっています。しかし、透析予防管理指導に臨床検査技師による自己血糖測定器の使用方の再確認や検査値の見方についての指導を必須条件にしていけると、糖尿病のチーム医療は、さらに円滑になると思います。

多根総合病院 看護師 光藤 久乃

(於:平成25年2月2日(土) 近畿医療技術専門学校)

Report

平成24年度 手話講演会

会社の保健室 踊る保健師 (心理カウンセラー) 徳永 京子先生をお招きし、「医療におけるバリアフリーコミュニケーション」と題し、平成24年度手話講演会を開催いたしました。

近畿医療技術専門学校の学生と一般受講者のみなさんが、今年も徳永先生の世界に導かれ、医療現場などいろいろな場面においての、手話による表現をたくさん学びました。

私 は今回の講演会を聞くまで、「聴覚障害者=手話」と考えていました。しかし、筆談などで会話する方もたくさんいらっしゃることを知りました。恐らく現在医療現場で働かれている人たちの中にも知らない方もおられるのではと思いました。だから手話で通訳できる医療従事者だけではなく、全てのケースにおいて患者さんとコミュニケーションが取れる環境づくりが大切なのだと感じました。

また手話ができないからと関わりを絶つのではなく、表情や体の動きなどで伝えようとする勇気が大事だと教わりました。講演の最後でお話して下さった、徳永先生の言葉「できないことは恥ずかしいことではない。」がとても感慨深く、私の心に残っています。

このような貴重な講演を聞く機会を設けて頂きありがとうございました。

今 から数年前に手話の授業を受ける機会がありました。その後、実践で使う事も自ら使う環境に身を置くことなくただ興味があるという漠然とした気持ちでいたことに今日の授業で改めて気づかされました。医療機関ではあらゆることを想定して、色々な設備や対策を備えているものだと思っていましたが、コミュニケーションボードの用意がある病院もまだまだ少ないと初めて知りました。

将来、検査技師になった時、採血や心電図を取るなど具体的な場面設定でこういった手話が使用できるのかわかりやすく教えていただき、大変貴重な学びとなりました。聴覚障害のみならず困っている人を見かけたらまずは「何かお手伝いできる事はありますか？」と一声掛ける、そんなことを日常生活でも意識し、将来は検査技師として病院にいられた方々が安心して検査が受けられるよう努めたいと思いました。

臨床検査科 1年 宮田 嵩也

臨床検査科 1年 西嶋 麻那



大臨技学術部 免疫血清検査部門 平成25年度 講演会年間予定

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

			テーマ/講師
事 日 参 場	業 加 費 所	名 時 費 所	
定期講演会1	平成25年5月22日(水) 18:30~20:00 500円 新大阪丸ビル新館307号室		LBA-EATA法で何が出来るの? 西原 裕子(和光純薬工業株式会社臨床検査薬営業本部学術部) ミュータスワコー導入時使用経験 山城 愛(大阪医科大学附属病院中央検査部)
定期講演会2	平成25年7月24日(水) 18:30~20:00 500円 大阪中央公会堂展示室		新型インスリン製剤は光明となるか? 海老原 亮(ノボ ノルディスク ファーマ株式会社) SMBGの原理と使用・指導時の諸注意 河内山 幹(テルモ株式会社大阪DMチーム)
定期講演会3	平成25年9月25日(水) 18:30~20:00 500円 未定(大阪市内予定)		BLEIA法~蛍の光が何をもたらす? 大熊 博(栄研化学株式会社生物化学第一研究所) HCV抗原検査の有用性は? 上田 一仁(市立芦屋病院臨床検査科)
特別講演会	平成25年10月26日(土) 15:00~18:00 500円 大阪医科大学新講義実習棟101号室		ABC検診はどこまで有効?血液検査でどこまで分かる? 中嶋 博和(株式会社SRL近畿営業部) 胃癌克服へ向けて~病理検査室の戦略! 井上 玲郁(大阪医科大学病院病理部) 内視鏡のしくみと原理~早期発見を支えるしくみ~ 近藤 浩史(オリンパスメディカルシステムズ) 胃癌治療最前線!ここで見つければ、ここまで治る! 李 相雄(大阪医科大学附属病院 消化器内科)
研修会 「免疫学の逆襲! ~臨床検査の理解を深めるために」	平成25年12月7日(土)9:00~17:30 2000円 大阪医科大学新講義実習棟101号室		序章~異常反応を解き明かすキーとなる免疫学 繁 正志(大阪医科大学附属病院中央検査部) 免疫学視点で眺める腎臓の未知なる世界 木全 明子(アークレイ マーケティング株式会社学術センター) 免疫学で覗き見る赤血球膜抗原の神秘 坊池 義浩(兵庫県赤十字血液センター学術課) ランチョンセミナー:感染症検査の歴史(予定) 江川 孝則(富士レピオ株式会社学術サービス部) 免疫学で理解する、血液細胞の分化過程 横井 浩(ベックマン・コールター社学術統括部門) 免疫検査を行うための臨床化学検査の基礎理論 中島 康仁(松下記念病院 中央臨床検査部) 創薬に活かす免疫学…エピジェネティクスとは 竹橋 正則(大阪大谷大学薬学部 薬物治療学講座) 免疫学で解き明かす~膠原病内科の戦略 武内 徹(大阪医科大学附属病院膠原病内科)
定期講演会4	平成26年1月22日(水) 18:30~20:00 500円 未定(大阪市内予定)		気になる花粉症:その発症機序は? 中山 哲 (ファディア株式会社クリニカルセールス&マーケティング本部学術部 学術グループ) 花粉観測状況報告~今年の傾向 倉重 真由美(市立芦屋病院臨床検査科)

大臨技理事会報告 Executive board report

平成24年度 第11回(2月18日開催)決定事項

1. 大臨技ホームページ掲載の「平成23年度臨時総会議事録」において、公益法人化に伴う定款変更議案への質疑に対する回答の記載部分に行ずれが生じていたため異なる内容となっていた。訂正し、ホームページで広報した。
2. 公益法人移行申請の進捗状況は、公益認定委員会に1月に申請を行い、結果待ちの状態である。
3. 平成25年度大臨技年会費納入について、3月末時点で会費入金状況を確認して未納者に対して個別に対応する予定である。
4. 理事会において大臨技組織運営規程を一部改訂する。
5. 日臨技連盟の代表理事に宮島日臨技会長が就任した。今後、日臨技と連盟は職域拡大に向けて力を合わせていく。また、連盟加入者名簿を日臨技ホームページで公表することになった。

大臨技事務局より 平成25年度 大臨技会費納入のお願い

施設の異動、技師会の異動、転居の変更など、現在の情報に変更がある場合
大臨技事務所まで連絡をお願いします。

大臨技のみに入会されている方へ

- 平成25年度大臨技年会費未納の方は、すみやかに**郵便局備え付け**の「払込取扱票」(白地に青枠の用紙)にて、年会費5,000円の振込みをお願いします。
- 「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」に加入される方は保険料の納入(大臨技会費とあわせて7,950円)と「**大臨技臨床検査賠償責任保険 加入依頼書**」(大臨技ホームページよりダウンロード)を大臨技事務所へ提出(送付)してください。
どちらかのみでは手続きが完了しておりませんので、ご注意ください。

詳細は大臨技ホームページをご参照ください。



重要なお知らせ

「平成25年度 大臨技会員証」について

平成25年度からの会費納入方法の変更に伴い、
「平成25年度大臨技会員証」の作成および発送が大幅に遅れます。
このため

- 「平成25年度大臨技会員証」は、平成25年4月中に発送されます。
- これに伴い、「平成24年度大臨技会員証」は、「平成25年度大臨技会員証」が届くまで使用可能といたします。(会員証有効期限が2013/03/31と印字されていますが、「平成25年度大臨技会員証」が届くまで使用可能です)。
- また、発送方法につきましても、従来のハガキから封書による発送となります。

自動化学発光酵素免疫分析装置

スフィアライトワーク

SphereLight Wako

- 迅速報告20分
- 処理能力 180テスト/時間
- 最大24項目をフルランダムアクセス処理



医療機器届出番号:13B1X00134000024

簡単・迅速を
追求しました。

HIGH
PERFORMANCE

腫瘍マーカー	AFP、CEA、CA19-9、CA125、PSA、NSE、proGRP、CA15-3
甲状腺	FT3、FT4、T3、T4、TSH
他ホルモン	PRL、LH、FSH、i-PTH、C-ペプチド、インシュリン
感染症	HCV抗体、HBs抗原、HBs抗体、TP抗体、H.ピロリ抗体
心疾患	NT-proBNP、トロポニンT、CK-MB、ミオグロビン
その他	ペプシノゲンI、ペプシノゲンII、フェリチン、IgE、β2-m、PCT

[機器 試薬販売元] [試薬製造販売元]

和光純薬工業株式会社

[試薬製造販売元]

三洋化成工業株式会社

[機器製造販売元]

日立アロカメディカル株式会社

[問い合わせ先]

和光純薬工業株式会社

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町四丁目5番13号
TEL: 03-3270-9134 (ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。

平成25年5月号の原稿メ切は**4月5日(金)**、6月号は**5月3日(金)**です。